
pm3：00の蝶

青涼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

pm3・00の蝶

【Zコード】

N4405C

【作者名】

青涼

【あらすじ】

一人の女の子の人生の物語。 これから的人生をどう生きていいくのか

pm3:00

我 ここに存在^{あり}

私は都会の蝶になる 踊り奏でる 綺麗な蝶に…

のどかな風景 澄んだ空氣 遥かなる大地

涼の瞳には 当たり前の様に映る光景
それが いわゆる普通

夢などない

ただ この今の世界で日々追われ この今の世界で生きていく

涼には 今見ている光景が 涼の世界
そして 涼の全てだった

それでも この澄み渡る様々な光景に 自分自身のこの世界に

今までの苦惱や困難をも乗り越えられた小さな希望があることを
心のどこかで信じていたんだ

あの日

弱さを武器になどしなければ…

憎しみを覚える事などしなければ…

何かが 音も立てずに崩れ落ちた

涼の（口口口）と共に

悔しあが渦を巻く

どんなに嘆き 涙をカラにした所で

「後悔」という名は
「無」に等しかつた

無情にも時間だけは過ぎていく

誰かのせいにして 悲劇を装つたとしても
その悲劇が また憎しみを生むだけだった

何かを望むのなら その『代償』が必要だ

涼は 欲という弱さにつけこまれ 自ら欲に溺れても 真実に立ち
向かう事から逃げ出した そして『小さな光』を失った

完璧な人間などいない

独りで生きていけない事ぐらい分かってる

ただ ただ答えを見つけられずに さまい もがき続けた

どのくらいの時間が立つたのだろう

ふと 空を見上げた

「蝶」

そう それは遠い遠い昔のこと

記憶の断片

ただ ひたすら舞い続けるその姿に 強烈な感覚を感じたんだ

果てしなく広がる空を見上げながら決意した

「終わりがあるのなら 始まりがある事 心の底から信じる事を」

記憶の断片をしっかりと胸に刻み込み歩き出す

今までの自分の住み慣れた世界に終わりを告げ 新しい道へと進んでいった

夕日が沈み 気付けば空一面で星が輝いていた

だんだん遠ざかっていく生まれ育った町並みに手をかざしながら

ゆっくりと田を開じていった

どれくらいの時間が立つたのだろう

たどり着いた 涼の瞳に映し出された光景に

のどかな風景や澄んだ空気など存在しなかつた

全く違う世界がそこにはあった

涼は 大きなビルが建ち並ぶ街並みを見つめながら

小さなこぶしを強くこぎつしめた

時計は夜中の3時を指していた

「ツナガツタよ。キオクのカケラ。」

pm3:00

我 ここに存^{あり}在

私は都会の蝶になる 踊り奏でる綺麗な蝶に

新たなストーリー

ここから始まる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4405c/>

pm3:00の蝶

2010年12月14日22時06分発行